

まち・ひと・しごと創生総合戦略会議全体会 議事要旨

開催日時 令和3年5月25日(火) 13:30～16:25

開催場所 生駒市役所 4階 401・402会議室

出席者

(参加者) 久 隆浩 氏、大原 暁 氏、吉田 慎太郎 氏、大西 俊典 氏、田中 篤史 氏、鐵東 敦史 氏、
石川 千明 氏

(事務局) 増田市長公室長、岡村企画政策課長、片山企画政策課計画係長、竹田企画政策課員

以下、議事要旨

1-1-1 出産に対する経済的支援

(意見)

- ・経済的に困窮している家庭を対象としたリモート環境整備の支援を検討されたい。

1-1-2 産前産後ケアの充実

(意見)

- ・事業の実施が、アウトカム指標である「育児について相談する相手がいる人の割合」につながるよう取り組まされたい。

1-2-1 就学前保育の機能強化

(意見)

- ・テレワークの普及等コロナ禍における育児環境トレンドの変化も意識して事業を展開されたい。

1-2-2 学童保育の機能強化

(意見)

- ・当事者に限定して満足度を測ってはどうか。サービスを受けていない人の評価を上げるのは難しい。
- ・学童保育サービスの満足度向上につながる戦略的な施策展開に期待したい。

1-3-1 教育環境の充実

(意見)

- ・ICT教育については、インフラ整備と並行して人材育成等ソフト面での取組も当事者意識をもって実施されたい。
- ・ICTの活用に長けた教員が先導することで、コンテンツを充実させ、自己肯定感の向上にも寄与する教育の提供が望まれる。

1-4-1 子育て世帯を応援する情報提供の推進

(意見)

- ・ SNSの積極的な活用とそれによる成果は庁内全体で共有されたい。
- ・ データ解析等、ICTを取り入れて、市民にとって使いやすいホームページ運営やプロモーションにつなげてもらいたい。

1-4-2 子育て世帯の交流促進

(意見)

- ・ オンライン交流を活用し、低年齢の子どもをもつ保護者への支援を強化されたい。
- ・ 講座等の開催について、子育て世帯は特に、オンラインの方が参加しやすい人もいる。コロナを転機として実施方法を柔軟に検討されたい。

1-4-3 地域で子育てを見守る体制の強化

(意見)

- ・ ニーズの多様化をふまえ、ファミリーサポート事業について、スキームの見直しも含めて多面的に検討されたい。
- ・ 突然サポートが必要になったケースでも対応できるよう検討されたい。

1-5-1 災害・犯罪等に対する安全性の向上

(意見)

- ・ コロナ禍でも災害が発生する可能性があるので、防災訓練を何らかの形で実施できるよう検討されたい。特に、コロナ禍における避難所運営は、ぶっつけ本番では難しいのでは。
- ・ 女性防災士も増えてきている。うまく力を借りて、多面的な活動展開ができるよう取り組まれたい。

2-1-1 働き方をめぐる環境の変化に応じたワーク・ライフ・バランスの実現

(意見)

- ・ 働き方をめぐる環境は、コロナ禍で大きく変化した。そういう意味でテレワークやワーク・ライフ・バランスの普及など、もっと成果が出ても良いと思う。

2-2-1 産業の活性化

(意見)

- ・ 他分野に比べて、内容が薄いように感じる。しごと創生につながるよう積極的に取り組まれたい。
- ・ 企業誘致については、市民の雇用を生み出す業種や生駒市のPRにつながる業種をターゲットにするなど、戦略的に取り組まれたい。特に、食に関する産業は、副次的な効果も期待できる。
- ・ 生駒テクノエリアの課題では社員の高齢化が進んでいるが若い人材の獲得に苦戦していると聞く。このような課題の解決につながる施策を期待する。
- ・ 最低賃金を上げるなど、労働者にとって魅力のある環境づくりが必要である。

2-2-2 起業支援

(意見)

- ・最終アウトカムである「起業がどれだけ増えたか」を意識して取り組まれない。実際の支援者の中で起業につながったケースなどエピソードも聞かせてもらいたい。

2-3-1 子育て分野における就労の促進

(意見)

- ・保育士は全国的に引く手あまたとなっている。積極的に取り組まれない。

2-3-2 介護分野における就労の促進

(意見)

- ・特になし

2-3-3 食に関する地域産業の創出

(意見)

- ・農作物等を作るだけでなく、流通させ、ブランド化できれば産業として成果が出るのではないかと。

3-1-1 まちの魅力発信や交流の促進による交流人口の拡大

(意見)

- ・マイクロツーリズムが注目されている。
- ・食に関するイベント等、新たな観光資源を活用したツアーの増加に期待する。

3-1-2 多様な住まい方・暮らし方の推進による流入人口の促進

(意見)

- ・特になし

3-2-1 多様な主体との協創による都市ブランド形成

(意見)

- ・既に成果が出ている分野なので、新たなICTツール活用によるさらなる推進が期待される。

3-2-2 協働イベントの開催による楽しく活力のあるまちの創出

(意見)

- ・オンラインを活用した展開が求められる。

3-2-3 文化芸術活動やスポーツ活動への参画機会創出によるまちへの愛着やシビックプライドの醸成

(意見)

- ・コンサート等のオンライン開催、またハイブリッド方式の活用、新たな展開を検討されたい。
- ・全国大会を開催できるくらいの、生駒市ならではの競技を打ち出してもらいたい。尖った戦略的な施策が必要。
- ・e-スポーツは、全国的にも注目されてきており、世界とも簡単に繋がれる。会場の制限もなく開催しやすいのでお勧めしたい。

基本目標1「子育てしやすいまち」

(意見)

- ・事業の実施がアウトカムにつながっていないので、特に、子育て世帯の住みやすさの満足度向上を意識した取組を期待する。

基本目標2「働き盛り世代が希望の仕事ができるまち」

(意見)

- ・施策の連動を意識しながら展開されたい。

基本目標3「働き盛り世代が住みたいまち」

(意見)

- ・転入・転出に関するアンケート調査結果を効果的に分析し、アウトカム指標向上に向けて取り組まれない。
- ・まんべんなく取り組むのではなく、特徴的な取組ができれば、こちらから発信しなくても口コミやニュースなどで、自動的に拡散されるので戦略的に取り組まれない。